成績評価に関する申し合わせ

１　成績評価に関する自己点検・評価の実施

成績評価の妥当性を検証するため、各部局等の委員に対して、2024 年度より各授業の成績評価分布を可視化する BI ツール metabase を示す。

＊metabase で、学生情報システム（GAKUEN、UNIPA 等）のデータを収集・分析可能

２　成績評価基準の設定

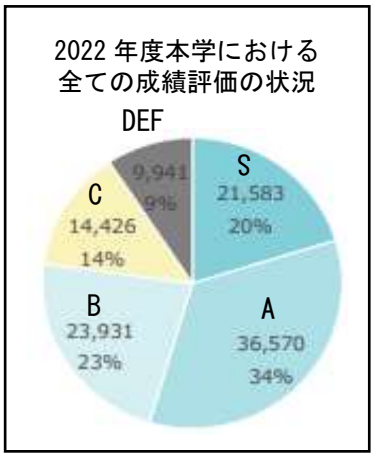
「**絶対評価**」を基本的な理念とし、成績分布が著しく偏ることや不可となる割合が著しく大きくなることを避けるようにする。また、各部局等に成績評価に関する自己点検評価を促し、その検証結果及び改善状況を全学で共有する。

○ 具体的数値（目安となる数値）を設定

原則として、S 評価を評価対象者の **15%以内**、A 評価を **25%以内**とする。

但し、以下のような授業科目は、例外として取り扱う。

・履修者数の少ない科目
・グループワークを基本とする科目
・演習、実習・実験、研究会等の科目
・その他、合理的な理由があると教育担当副学長が認めた場合



≪各部局等で成績評価の妥当性の確保≫

① 成績分布の分析（科目別の集計）
② 成績分布に著しく偏りがある場合、授業担当に協議を行い、必要な場合は、見直しを求める
③ 試験や授業難易度の改善

【附則（令和６年２月 27 日）】

この申し合わせは、令和６年４月１日から施行する。